

2024年度(後期)数理学習センタープロジェクト発表会報告書

1月23日(木)に学生会館 SAKURAUM3階大講義室 A にて、2024年度(後期)名桜大学数理学習センタープロジェクト発表会を開催いたしました。数理学習センターの今年の活動は、新規チューター4名、継続チューター15名、ボランティアチューター1名、総勢20名で述べ1100名の利用者をサポートすることができました。

MSLC では、事前研修会の準備から活動が始まります。今回の発表では、その準備も含めた活動内容やチューターの工夫及び学修支援への思いややりがいなどが伝わる内容となっていました。また、本発表会に向けて、それぞれの活動について、計画・実践・評価・改善をまとめ、データを可視化する作業工程で、チューターが楽しみと達成感をもって取り組んでいることが伝わってきました。このようなMSLCの学びのコミュニティに溶け込み、学生がピア・チュータリングを受け、チューターとの信頼関係を築いていることも、チューターの真摯な姿勢から改めて窺い知ることができました。

今回の発表会を通して、今学期の成果として大きく2つ挙げる可以考虑です。1つ目は、医療統計学で前期担当チューターと担当教員が連携し、後期の準備を整え、新たな取組を行うことで、リメディアル教育の進め方の一方策を創り出すことができたことです。それにより健康情報学科の学生の利用者が増えたことも成果として挙げられます。2つ目は、スポーツ健康学科の学生の学ぶ意欲の高さ、上質な学習習慣の定着度が顕著であり、学習事項の理解度を向上させる真摯な学習態度が際立って良く、チューターにとっても大きな刺激を受けたことが挙げられます。MSLCチューターの真摯な努力で成果が確認できたことを誇らしく思い感謝いたします。

今回の本発表会には、教職員8名、学生及び卒業生4名(オンライン参加含む)計12名のご参加がありました。

ご多忙の中、発表会にご参加いただきました皆様ありがとうございます。皆様のチューターへの評価及びお寄せいただきましたコメントは、チューターへの激励と新たなエネルギーへと変わる貴重なメッセージだと受け止めております。心より感謝申し上げます。

今後とも、チューターへの激励や指導助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<報告資料> 発表の概要をチューターの発表スライドより一部ご紹介いたします。



図1 事前研修会の準備で活動スタート



図2 連携授業の準備と活動計画

学科 学年	国際学部	国際文化	国際観光産業	スポーツ健康	看護	健康情報	合計
1年	0	270	74	315	0	17	676
2年	2	64	96	8	0	148	318
3年	23	0	0	8	64	0	95
4年	11	0	0	0	0	0	11
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	334	170	331	64	165	1100

図3 学科・学年別述べ利用者数

学科 学年	国際学部	国際文化	国際観光産業	スポーツ健康	看護	健康情報	合計
1年	0	29	11	23	0	6	69
2年	1	13	11	2	0	26	53
3年	13	0	0	3	5	0	21
4年	3	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	42	22	28	5	32	146

図4 学科・学年利用者実人数

図3 学科別利用者数のトップは国際文化学科、次にスポーツ健康学科でした。年次別では、スポーツ健康学科1年、次に健康情報学科2年となっています。

図4 実利用者数のトップは国際文化学科、次に健康情報学科となっており、図3と図4の結果より、利用者一人当たりの利用回数のトップは、スポーツ健康学科1年、約13週で平均13.7回となっています。

◎今回で最後となる4年次チューターのMSLCでの活動を振り返る発表は好評でした。

●発表者：山田翔太（情報システムズ専攻4年次）
コンピューター概論、情報科学と社会の担当リーダー

●発表者：清水麻由（国際観光産業専攻4年次）
統計学、診療科目担当、15周年活動報告書作成担当

元々私は文系で、数学は得意ではありませんでした。そのため、どのように TR を行っていくかを考えていました。そして、数理能力の向上を目指して、数検2級対策を積極的に行い、合格をしました。また、チューターの行動を観察することやチュータリング中のコミュニケーションの取り方を意識しました。MSLC の活動を通して、特に次の3点を実感しているいろいろなことを学びました。

1. 人に「寄り添う」ことの大切さ
2. 社会人基礎力の構築
3. MSLC の活動で学んだことを部活動でも活かすことができました。例えば、自分の行動に一貫性を持たすことやそれぞれの価値観を理解するために定期的な MT を始めたことなど、MSLC での経験や MT で学習したことを落とし込んで、チームの課題解決、環境作りに繋げることができました。

将来は、地元で「地域の特色を活かした地域創生を行う事業をする」ことを目標としています。

これまで連携科目や MSLC でお世話になった先生方や職員、約3年間ありがとうございました。

(山田 翔太)



写真1 山田さんの発表の様子

はじめの頃は正直言うとコミュニケーションスキルを身につけたいや就職活動で使えるガクチカが欲しいなど、自分の未来しか考えていませんでした。

- しかし、MSLCの基本理念は自分の成長ではなく
1. 一緒に学習するという学びの空間の提供、
 2. 学生の数理能力の向上と自主学習の促進です。

このことからわかるようにチューター自身の成長だけでなく、利用者である学生の学修を支援することが重要であると考えました。私が学修支援で大切にしていることは、以下の3つです。

- ①応用的な問題にぶつかった時でも対応出来る基礎的な力を身につけてもらうこと
- ②情報の可視化をする/させること
- ③個々の学生に合わせた学習支援をすること

自分自身の成長としては社会人基礎力調査結果で「伝える力」、次に「考え抜く力」が大きくアップしました。それに加え、ピンチヒッターでチューターリーダーや科目のリーダーをやった経験を通して、周りを見る力、広い視野が身についたと感じています。

4月からは社会人になりますが、ここで学んだことを活かし、行動していきます。

(清水 麻由)



写真2 清水さんの発表の様子



写真3(上) プロジェクト発表会展示物

写真4(下) 発表の様子

